

部局名	産業活力部	所属名	農政課	所属長名	立石 眞	電 話	483-1151 内線3560
-----	-------	-----	-----	------	------	-----	-----------------

1. 事務事業の位置付け・概要（P L A N）

コード	4096		事務事業名称	農業の郷整備事業						短縮コード	経常		臨時	4096
予算区分	会計	01	一般会計	款	06	農林水産業費	項	01	農業費	目	03	農業振興費		
区 分	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務 ☐ その他				根拠法令等		農業経営基盤強化促進法							
事業概要（事務事業を開始したきっかけを含めて記入）														
平成5年「農業経営基盤強化促進法」が改正施行され、経営規模の拡大や生産方式の合理化等経営の改善を図ろうとする農業者（経営体）に対する支援措置が強化された。本市においては、「農業経営基盤の強化の促進に関する基本的な構想」を策定し、意欲ある農業者（経営体）の育成を目指している。そのような中で、農業を中心とした地場産業の振興及び都市と農村の交流の場づくりを目的とし、事業を開始した。														
事務事業を取り巻く状況の変化 又、今後の変化の推測 国は、担い手への集中的・重点的な施策を展開し、農業の構造改革に取り組んでいる。今後は、国の施策に対応できる農業者（経営体）の育成支援が必要である。					総合計画の施策体系	5本の柱（章）	05	産業活力都市をめざして						
						大項目（節）	01	農業						
						中 項 目	01	農業						
						小項目（施策）	06	市民とふれあう農業の推進						
						細 項 目	02	市民と農家との交流						
					実 施 計 画 の 計 画 事 業	5103	やちよふれあいの農業の郷整備事業							
計画事業の位置付けの有無				☐	計 画 事 業 期 間		平成18年4月 ～ 平成20年3月		計 画 事 業 費		千円			

2. 事務事業の目的・指標・実績（D O）

対象 （誰を何を対象にしているのか）	住民（農家、都市住民）								
手段 （具体的な事務事業のやり方、手順、詳細）	※平成19年度に実際に行ったこと： やちよふれあいの農業の郷基本設計、地質調査・解析、事業用地不動産鑑定								
	※平成20年度に計画していること： やちよふれあいの農業の郷基本設計								
意図 （何を狙っているのか）	農家や農業地域にとって、農業や農村空間を利用した都市住民との交流、農産物や農産加工品の販路の開拓・確保、農産加工・販売など農業経営の安定、地場産業の情報発信が目的となり、都市住民にとって、体験型観光、ゆとりある休暇、新鮮でおいしい農産物が目的となる。								
結果 （どんな結果に結びつけるのか）	入力対象外								
区 分					単位	1 8 年度	1 9 年度		2 0 年度
						実績	計画	実績	計画
対象指標	指標 1	住民数	人		185, 000	185, 000	185, 000		
	指標 2								
	指標 3								
活動指標	指標 1	施設整備計画面積	m ²		13, 431	13, 431	13, 431		
	指標 2								
	指標 3								
成果指標	指標 1	施設整備完了面積	m ²		0	0	0		
	指標 2								
	指標 3								
上位成果指標	指標 1								
	指標 2								
	指標 3								

コード		4096	事務事業名称	農業の郷整備事業			所属名	農政課
			単位	１８年度	１９年度		２０年度	
				実績	計画	実績	計画	
事業費 (A)	財源内訳	国	千円		0	0	0	
		県	千円		0	0	0	
		地方債	千円		0	0	0	
		一般財源	千円		0	0	0	
		その他	千円		39,680	8,478	23,140	
	主な事業費の内訳				手数料1,470千円、委託料38,210千円	手数料1,412千円、委託料7,067千円	委託料23,140千円	
人件費(B)			千円	0	10,098.4	19,796.6	19,666.2	
トータルコスト(A)+(B)			千円	0	49,778.4	28,274.6	42,806.2	

3. 事務事業の評価（SEE）

評価 類型	評価事項		評価区分		理 由				
目的 妥当 性	①事業目的が上位の施策に結びついているか？		☒ 結び付いている		八千代市第3次総合計画の中で中で位置づけられている。				
			☐ 結び付くが見直しの余地がある						
			☐ 結びつきが弱い・ない						
			☐ 評価対象外事項						
	②すでに所期目的を達成しているか？ ※「達成している」を選んだ場合、⑥に進んでください。		☐ 達成している		事業未完了のため、目的を達成していない。				
			☒ 達成していない						
			☐ 評価対象外事項						
	③民営化で目的を達成できるか？ ※民営化・・・事務事業の全部又は一部の実施主体を全面的に民間事業者等に移行すること。 （民間委託は、権限に属する事務事業等を委託することで、民営化とは異なる。）		☐ 可能性はある		ふれあいの農業の郷事業の基本設計を実施していることから、今後さらなる検討が必要である。				
			☒ 可能性はない						
			☐ 評価対象外事項						
	④「対象」・「意図」の設定は現状のままで良いか？		☒ 現状のままでよい		この事業は、農村と都市との交流拠点施設を整備するものであるので、対象は農家と都市住民である。				
			☐ 見直す必要がある						
☐ 評価対象外事項									
有効性・ 効率性	⑤今後、有効性や効率性を向上させる可能性はあるか？ 可能性がある場合は、⑤－2, 3を記入する。 可能性がない場合は、理由を記入する。		☐ 有効性向上の可能性はある		今はないが、ふるさとの農業の郷事業の基本設計にかかわる関係から、今後、検討をしていきたい。				
			☐ 効率性向上の可能性はある						
			☐ 両方可能性はある						
			☒ 可能性がない						
	⑤－2 有効性や効率性を向上させる手段は何か？ 該当する手段を選択し、 具体的な方法と得られる効果を記入する。手段が「類似事業との統合・役割見直し」である場合は、該当する類似事業を記入する。		☐ 民間委託等						
			☐ 臨時的任用職員等の活用						
			☐ I T化等業務プロセスの見直し						
			☐ 受益者負担の見直し						
			☐ 類似事業との統合・役割見直し						
			☐ 上記以外の方法		類似 事務 事業 名称	1		実施主体 (所管部署)	
	⑤－3 推進にあたっての課題はあるか？(一時的な経費増・市民の理解等)		☐ ある						
			☐ ない						

コード	4096	事務事業名称	農業の郷整備事業				所属名	農政課
今後の方向性	⑥この事務事業の今後の方向性を選択し、その詳細について右欄に記入する。				☐ 改革・改善して継続		農業情勢の動向に注視し、かつ推進協議会等の意見を参考とし、必要なものを適宜見直し実施する。	
					☐ 手法プロセスの改革・改善			
					☐ 事業規模の拡大・縮小			
					☐ 統合・役割見直し			
	☐ その他							
☐ 廃止								
☐ 休止								
☒ 現状のまま継続								
	⑦この事務事業の今後の経費・成果の方向性について選択し、右欄に理由を記載する。			経 費			施設の建設のためには、コストの増加が必要である。	
				削 減	不 変	増 加		
		成 果	向 上	☐	☐	☒		
			不 変	☐	☐	☐		
			低 下	☐	☐	☐		

この事務事業に対する市民や議会の意見（担当者が把握している意見） ※内部サービス業務の場合は、住民ではなく、サービス利用者、関連部門の意見や実態など									
市民や議会から計画の中に含まれている本計画地である島田側と既存のふるさとステーションを結ぶ橋が不要ではないかとの意見があるが、地元住民からは橋に対する要望が強い。									

所属長コメント	・都市と農村の交流の場作りを整備することにより、今後の八千代市の農業の活性化に寄与し、事業の展開を容易にするための計画作成である。 ・妥当な評価である。								
評価調整委員会評価	☐ 改革改善して継続			担当課の評価のとおり，現状のまま継続とする。					
	☐ 手法プロセスの改革・改善								
	☐ 事業規模の拡大・縮小								
	☐ 統合・役割見直し								
☐ その他									
☐ 廃止									
☐ 休止									
☒ 現状のまま継続									